

事務事業名	若草保育所維持管理事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5153						
			所属課室	若草保育所		課長名	小林まち子						
			所属担当	若草保育所		担当者名	小林まち子						
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目		
		17	社会福祉の充実		01	一般	03	02	04	09	00	5	
政策	28	児童福祉の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	児童福祉法 南アルプス市立保育所条例 南アルプス市立保育の実施に関する条例								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 消耗品、灯油代、電気料、水道料、ガス代、下水使用料、施設修繕料、電話料、植木手入れ、電気設備保安管理料、電気定期点検・清掃料、ボイラー点検、プールろ過点検、NHK受信料、印刷機リース料、マット・モップリース料、電話機リース料、砂場用砂代、ガラス・遊具等修理代 直接児童に関わらない管理経費を施設等の状況把握を行い執行をして行く。			事業費の主な内訳 (22年度)									
				項目(細節)				金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
				需用費				3,477					
				役務費				155					
				委託料				299					
				使用料及び賃借料				155					
原材料費				20		計				4,106			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動

22年度活動実績

23年度活動予定

② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)

④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)

⇒

⇒

⇒

⇒

⇒

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	1,852	3,944	4,052	4,053	4,053	4,053	
	事業費計 (A)			千円	1,852	3,944	4,052	4,053	4,053	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	9	7	9	8	8	8	8	
		延べ業務時間	時間								
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	1,852	3,944	4,052	4,053	4,053	4,053	0	
活動指標		ア	円	2,326,000.0	4,106,000.0	4,096,000.0	4,096,000.0	4,096,000.0	4,096,000.0		
		イ	数	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
		ウ	数	9.0	9.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
対象指標		ア	%	80.0	80.0						
		イ	数								
		ウ									
成果指標		ア	円	1,852,000.0	4,106,000.0						
		イ	数	9.0	7.0						
		ウ									
上位成果指標		ア	人								
		イ	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？

② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？

③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？

若草保育所は昭和40年4月、若草町立保育園として認可設立、昭和53年藤田保育園が現在に地移転し定員90名、平成2年定員130名、現在定員150名である。

5年前に比べ児童数は30名弱減少している。特殊建物定期検査で指摘されている箇所3箇所修繕したがまだできない箇所がある。また、遊具が老朽化している部分があり安全面で不安あり。

未満児入所希望者が増加している。また、遊戯室を保育室として使用しているため、遊戯室の機能が果たせていない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？

② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)

③ H 22年度に実施した改革改善の内容

☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】

警備、遊具点検、害虫駆除、消防点検等、本課一括契約とした。遊具点検・特殊建物検査で指摘された箇所について修繕を行ったが、まだ修繕しなければならない箇所がある。

事務経費の効果的、効率的な運用を実施している
電気料等、職員でできるだけ節約に取り組んでいる

事務事業名	若草保育所維持管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	若草保育所
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉法に基づく政策体系の施策である
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 これから南アルプス市の未来を担っていく児童を育てていくためには、公共性のある施設の公正なサービスは、福祉を充実していくために今後も必要である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 施設維持管理事業であるため妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設維持管理事業なので、成果の向上余地はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保護者が安心して子どもを預けることができない ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保育にかける子どもたちを預かっているので、休止・廃止できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 今でもかなり切り詰めている状況であり、施設を維持管理していくために削減余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 児童数に対する、維持管理事業費なので削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設の維持管理事業なので、公正・適正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	この事務事業は、安全安心な保育環境の確保を目的とし、施設の維持管理を行うものであり、経常的、義務的経費であるため、事務事業評価としては適正であり、見直し余地はない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					